

保険証一枚ではり・きゅう・マッサージを受けたい

# 医療を考える会 会報

発行元:NPO 法人 医療を考える会

住所 渋谷区代々木 2-39-7 メゾン代々木 201 号

TEL 03-3375-6151 / FAX 03-3299-5275

メール [iryokangaeru@waltz.ocn.ne.jp](mailto:iryokangaeru@waltz.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://npo-iryokangaeru.org/>



## 第 14 回定期総会へのご参加を！

早くも今年度の総会が目前に迫ってまいりました。総会後にはワクチン問題を取り上げた講演会も開催されます。総会資料を同封いたしましたので、会員の皆様のご参加をお待ちしています。

### 鍼灸、マッサージ治療を認める健康保険へ一歩前進

事務局 山口充子

誰でも医療を受けることができるようにと、国民の要望、運動により作り上げてきた健康保険制度は、大きく変わろうとしています。健康保険による診療と自費診療の組み合わせが認められる混合診療となり、患者負担が重くなることが予想されます。

こんな話もききました。知り合いの 80 歳半ばの女性が、ある大学病院でがんの診断を受け入院を勧められたのですが、すぐに入院するにはベッドの空きがないとの理由で、個室をすすめられて入院したのですが、一日 38,000 円の個室料金だということです。ほんとうに驚きました。

医療の充実、医療費の効率的な活用を考えれば、病気にかかりにくい身体づくりを基本にする東洋医療の活用です。政府は来年度平成 30 年度より、鍼灸マッサージ治療の受領委任を認めました。

受領委任を認めるとは、患者に特別な負担を負わせることなく、健康保険における鍼灸マッサージ治療料金の請求や支払いが行えるようにするための保険者と鍼灸師やあん摩・マッサージ・指圧師との協定を認めることです。

政府は、健康保険におけるはり・きゅうやマッサージ取扱は、患者が治療を受けた場合には、患者が自分で支払ったあとに、患者自身が保険者に請求し受け取るのが健康保険にもとづく正しい取り扱いであるとの対応を取り続けてきました。

国民にいったん支払わせるという金銭的負担、さらに、複雑な治療費の請求事務の負担を負わせるという、他の医療とは全く違う差別的な取扱いを取り続けていたのです。

しかし、国民の鍼灸マッサージ治療への要望が広がり、国民一人ひとりの権利に基づく委任行為により、治療を行う鍼灸師やあん摩・マッサージ・指圧師に治療費の請求や受取を委任する方法が広がり、多くの保険者がその取扱いを認めるようになりました。

健康保険におけるはり・きゅうやマッサージ治療の取り扱い金額が、年々増えて一千億円を超えたということですが、この95%は患者の委任により治療をした施術者が請求、受け取りの事務を行う委任払いにより支払われているのです。政府の健康保険における、はり・きゅうやマッサージ治療に対する差別的な取扱いの一端は、国民権利行使により破綻したのです。

このような事態となり、ようやく不正防止を理由として受領委任を認めました。しかし、これも伝統医療を健康保険で利用できるようにするため重要な一歩前進です。

健康保険証で鍼灸、マッサージ治療が受けられる健康保険制度へ、わたくしたちそれぞれの意思で伝統医療も選べる健康保険制度へ、粘り強い運動があれば必ず改善できます。

わたくしたち医療を受ける国民の意思をはっきり示すことが大切です。

引き続き、はり・きゅう治療やマッサージ治療の普及や健康相談の活動と「はり・きゅう・あん摩・マッサージ・指圧治療を健康保険証の提示で受診できる」制度の改善の請願署名に取り組みましょう。みなさんの総会へのご出席をお願いいたします。

署名の到達数 10月現在

国民の会	37,642 筆
NPO 医療を考える会	13,005 筆



## 健康相談と体験治療の報告

日時 9月21日(木) 13時30分～15時

会場 千駄ヶ谷社会教育館

参加希望者 4名

今年2月の千駄ヶ谷社教館祭りで、アンケートに答应てくださった方に、体験マッサージのチラシを郵送しました。

呼びかけに答えた4名の方が参加を申し込まれ、一人500円で資料代(マッサージ料込み)をいただきました。

社教館まつりで顔なじみになったせいか、開催時間と同時に皆さま、「待ってました」とばかりに参加されました。

一番に治療を受けた70代の男性は、前回の千駄ヶ谷祭りで治療が受けられなかったのが、今回は一番に申し込まれ、膝の痛みと、夜中に3、4回トイレに起きるのでよく寝られない事、その他、関節の痛みなどを主訴に治療を求めて来られました。

一人暮らしで92才の女性のKさんは、身体が痛くて立ったり座ったりすることが辛くなった。と話され、高血圧症ですが薬は飲んでいるので、今は血圧が普通といわれました。



マッサージの施術前に血圧をはかると、数値に異常はなかったので治療を始めました。

間もなく 80 才になる T さんという女性は、7 歳のとき戦争でけがをし、3 回手術を受けましたが骨髄炎となり、長い治療の間に足の発達に障害を受け苦勞をされていました。マッサージで少しでも身体を楽にしたいと話されました。



NPO 会員の 70 代女性の K さんは、この日の治療ですごく気持ちよくなり眠気に襲われ、はじめての気持ちの良い体験で、動きがゆったりになった事を不思議がっていました。

こうした治療を受けた方々からは、改めて「定期的に治療を受けたい」、「身近なところでマッサージが出来たら助かる」と当会の活動に共鳴された 92 歳の女性はこの場で NPO の賛助会員に入会してくれました。

参加者は、治療後は他の医療では感じられない身体の軽さがある。楽になった。是非、これからも治療を受けたいと切実に訴えられました。

当会でも定期的なマッサージ体験セミナーを「検討する」というと、知り合いやお友達にも声をかけるから、千駄ヶ谷社教会館で開催してくださいと、二人の女性から懇願されました。何とか期待に応えられる体制を作り上げたいと思わされた体験会でした。 (記 山口充子)

## 寒さに向かう季節のくらし方

田中 榮子



### 朝夕の冷え込みに注意

「柿が赤くなる頃は、医者が青くなる」と古くから言われますように、今の気候はさわやかで、まわりの木々が色づく様（さま）も楽しみです。

そして、秋が深まるにつれ、朝夕の冷え込みが厳しくなってきます。

この時期を、カゼを引かずに、又、脳出血や、心臓発作を起こさないで快適に過ごしたいものです。

- 1 まず、外出から帰ったら、うがい、手洗いを忘れずに。
- 2 急な気温の変化にうまく対処する。冷えると、きれいな血液が体中にめぐりにくくなります。

「頭寒足熱」に保った方が、循環のアンバランスが少なくなります。

\* 衣類の調節、肩かけ（ショール）の利用

肩のあたりがヒンヤリしたら、カゼに用心（カゼに関する穴・ツボ多し）  
あたたまるものを飲んで休んだり、早めに手当をします。

\* 暖房の用意、部屋の乾燥にも注意。

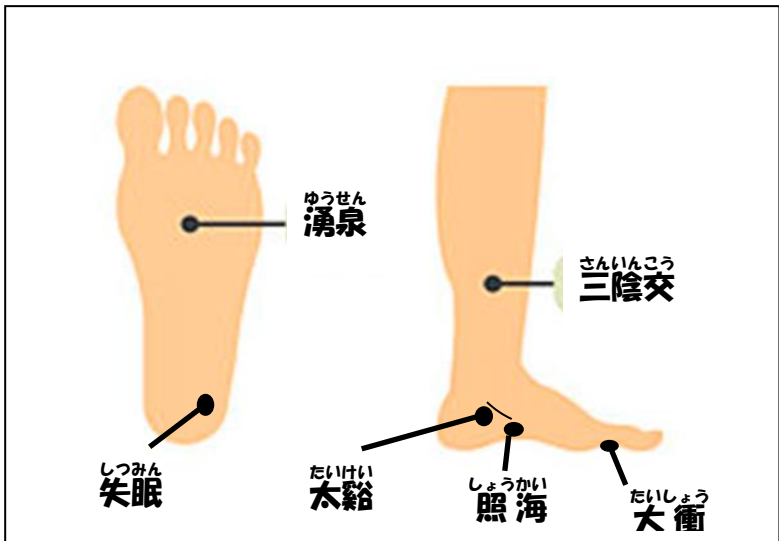
\* 食べものは、からだを温める根菜類も忘れずに。腹 7～8 分目。

\* 血圧が高めの方は、首、肩まわりを冷やさない。（脳へ行き来する血管が通る）

- \* 適度な運動と、十分な睡眠は言うまでもありません。
- 3 体調がおかしい時は、かかりつけ医に早めに相談しましょう。
- 4 循環に関する足の穴をのせます。ここを気持ち良く押ししたり、お灸をしたりするのも効果的です。

※カゼ予防に

足の三里穴、  
手の合谷（ゴオコク）穴、  
曲池（キョクチ）穴  
をもちいてみましょう。



## 野外パーティのボランティア治療、署名活動へご参加を

**日時 平成 29 年 11 月 23 日 10 時～15 時**  
**会場 稲田公園**（京王線京王稲田堤下車 10 分、南武線稲田堤下車 15 分）

野外公園でのおまつりは、やきそば・やきいも・つきたてのおもち・おでんなどの屋台や日用品・洋服他格安のバザー、地元の野菜・果物などにぎやかな露店・子ども達のひろばにウサギ・仔馬などとふれあう場・人形劇・うたごえ等々が集います。

そこにマッサージのコーナーがありお馴染みの方々が楽しみにしていただいています。

その体験を通じて身近に受けられる治療を知っていただき署名のご協力をお願いします。子どもやお孫さんといっしょに参加して楽しんでみてはいかがでしょうか？

昼食は屋台で調達します。